

新新徳新聞

第53号 2011年6月

発行日：2011年5月31日(第1版第1刷)

目次

- 1面
新入職者紹介
コンサートのご案内
- 2面・3面
東日本大震災
医療支援活動報告
- 4面
(健康友の会情報)
平成23年度総会報告

新入職者紹介

平成23年度を迎え、当院には新たに10名が入職しました。それぞれの決意や意気込みをご覧ください。



2階病棟
看護師

中野 雅悠

笑顔を忘れず、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。



4階病棟
看護師

星川 亜由美

明るく前向きに頑張つていこうと思ひます。よろしくお願ひします。



臨床工学科
臨床工学技士

松田 寛之

分からないことが多くありますが、日々努力していきたいと思ひます。



薬剤科
薬剤師

阿部 智昭

まだまだ足りない事だらけですが、頑張ります。



リハビリテーション科
作業療法士

高橋 由夏

まだ慣れないことばかりですが、毎日勉強しながら頑張ります。よろしくお願ひします。



リハビリテーション科
理学療法士

早坂 千寿枝

学ぶ姿勢を忘れず、笑顔で頑張ります。よろしくお願ひします。



臨床検査科
臨床検査技師

榎本 朋香

一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。



リハビリテーション科
言語聴覚士

高橋 雪華

一日でも早く戦力になれるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



医事課

小野 彩香

分からないことが多いですが、早く仕事を覚えられようように一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。



医事課

今田 愛里

笑顔溢れる接遇を心がけ、日々成長できるよう頑張ります。

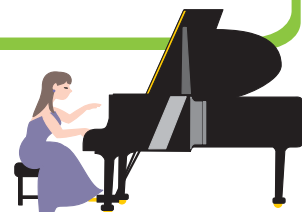
ピアノ コンサート

生誕200年を迎えたF.リストを中心に様々な曲が楽しめます。

6月14日(火) 開催

出演 岳本恭治さん 山季布枝さん
時間 (昼) 午後2時～
(夜) 午後5時30分～
会場 当院1階
通所リハビリテーション室

入場無料



東日本大震災

医療支援活動報告

平成 23 年 3 月 11 日 (金) の地震発生当日から、徳洲会グループは TMAT(徳洲会医療救援隊) を中心に医療支援活動を実施。当院からは 13 名の職員が参加いたしました。



事務長
成田 政彦



診療放射線科
榎本 晃二



4階病棟
高橋 健



発災当日夜、仙台徳洲会病院に放射線科の榎本君、西巻君と一緒に駆けつけて以来、数えてみたら新庄・仙台を10往復していました。

一番役に立てたかなと思うのは、ソウシン設備工業が手配してくれた簡易トイレ6台を、皆で仙台徳洲会病院にそして南三陸町に運んだことです。

そのトイレは今でも南三陸の「ホテル観洋」の従業員宿舎「マリナール」で活躍しています。

やはりトイレは重要です。

私は3月11日、震災当日の夜に仙台入りしました。当時、ライフラインも止まり、病院の配管が壊れ、ほとんどの放射線機器が水浸しになりました。結果、一部を除いて放射線機器は使用できませんでした。電話も使用できなかったため、仙台病院の技師長と共に放射線機器を復旧する目的で、信号が消えた仙台市内の各メーカーをめぐり、3日後には、ほぼ全ての機器を復旧することができました。

「被災者の役に立ちたい」という思いさえあれば職種は関係ありません。今後可能な限り、率先して災害支援に携わりたいと思います。

私は、地震発生の2日後(3月13日)に仙台徳洲会病院へ入りました。地震発生からそれ程経っていないというのに、すでに数十人以上の応援がいて、徳洲会グループの迅速な対応に驚きました。また、TMAT本部の方々の全体の流れや現在のニーズを踏まえた指示の早さ、的確さには驚かされるばかりでした。

2泊3日という短期間で病棟の片付けや患者さんの搬送を主に行い、看護師としてはそれ程支援はできませんでしたが、今後も自分ができる範囲での支援を続けていきたいと思っています。

6階病棟
渡部 佳裕



4月1日から6日までの間 TMA T本部でドライバ―業務を行いました。仙台本部から避難所への人材(医師、看護師、薬剤師、管理栄養士)、物品等を救急車で搬入する業務です。10台以上の救急車で往復約5時間、赤色灯を点けての運転なので、とても神経を使いました。夜中も、靴下を履いて就寝したりと、常に救急搬送要請へ対応できるように準備をしておかなければなりませんでした。



医事課
野尻 寿勝



地震発生翌日の3月12日、災害現場は初めてで不安でしたが、当院の救急車に非常食や飲料水を積み仙台徳洲会病院へ向いました。

仙台へ到着した時には、既に TMA T先遣隊が救急患者の対応に追われていました。病院内の暖房は使用できず、寒い夜を毛布一枚で過ごしました。

3月13日には、徳洲会グループ全国からの応援者が100名近く集まったため、物資搬入や院内の清掃等、病院の復旧作業にも人手を回せるようになり、この時に地震の被害が深刻であったことを改めて実感しました。

災害発生時に的確な判断と素早い行動のできる徳洲会の体制が、被災地で必要とされ続けることにつながったのだと感じています。



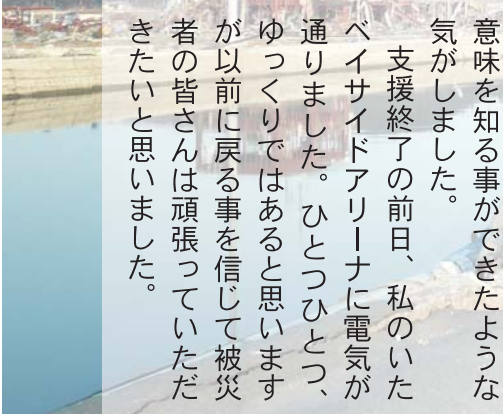
医局事務
山内 美喜



4月7日に発生した二度目の地震が新庄地域も襲いました。3月の本震が頭をよぎり、深夜非常に怖い思いをした事を思い出します。一段落着いた翌週の11日から TMA T活動に参加する機会を得ました。南三陸は大津波から一ヶ月経過しているというのに、何も変わっていない、というのが現地を目の当たりにした最初の印象でした。

そのような中で、私は「口ジスティック」として医師・看護師がより患者さん達と関わり易い環境を整えるなどの作業を担当しました。随所で TMA Tの人たちへの感謝の声を聞く度、徳洲会の活動の意味を知る事ができたような気がしました。

支援終了の前日、私のいたベイサイドアリーナに電気が通りました。ひとつひとつ、ゆっくりではあると思いますが以前に戻る事を信じて被災者の皆さんは頑張っていたのだと思います。



7階厨房から各病棟へ
職員総出で「配膳リレー」

3月11日の地震では、震度5弱を観測した新庄市。当院の建物自体に大きな被害は無かったものの、全館停電となり、自家発電に切り替え、1階医事課前に災害対策本部を設置。入院患者さんへの配膳では停止したエレベーターに代わり職員が協力し、7階厨房から各病棟まで一列となって食事を手渡しで運びました。病院に電気が戻ったのは、翌12日の正午頃でした。



平成23年度 健康友の会 総会報告

5月15日(日)新庄徳洲会病院において、平成23年度健康友の会総会が開催されました。

今年度は東日本大震災の影響もあり開催が遅れましたが、当日は各地域の会員の皆さん、役員、徳洲会病院成田事務局長よりご出席いただきました。

須藤会長のあいさつ後議案審議に入り、結果、提案された議案は原案通り可決されました。

総会後は、成田事務局長よりこの度の震災におけるTMA T(徳洲会医療救援隊)の支援活動の状況をご報告いただきました。被災地での地域医療の灯火を守り続ける素晴らしい活動に、皆真剣に聞き入り、今後益々の活躍を期待したいと思います。

総会参加者の親睦会には、新庄徳洲会病院の誘致段階からご尽力をいただいております、元山形県議会議長山科朝雄様、JA新庄市代表理事理事山科和則様にもご参加いただき、病院の更なる充実と進化を期待したいとのごあいさつをいただきました。

今後、新庄徳洲会病院と健康友の会は、共に発展を目指し努力して参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

健康友の会 事務局



平成22年度決算書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

収入の部

科目	決算額
会員費	1,364,000
賛助金	10,000
雑収入	113,528
繰越金	55,845
合計	1,543,373

支出の部

科目	決算額
事務局費	1,305,053
会議費	935
事業費	193,943
租税公課	2,000
備品費	0
諸費	5,052
予備費	19,497
合計	1,526,480

収入の合計
1,543,373

支出の合計
1,526,480

平成23年度予算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

収入の部

科目	予算額
会員費	1,518,000
賛助金	0
雑収入	100,000
繰越金	16,893
合計	1,634,893

支出の部

科目	予算額
事務局費	1,322,260
会議費	20,000
事業費	225,000
備品費	5,000
諸費	5,000
予備費	57,633
合計	1,634,893

平成23年度繰越金
16,893

平成23年度事業計画

1. 健康祭の開催
2. 新田川畔桜回廊の整備
3. 医療講演会への協力
4. 会員によるボランティア活動の実施
5. 徳洲新聞の配布
6. 会員へのサービス事業の実施



12年目を迎える
病院前の桜

- 送迎バスの運行(無料)
- 入院時のテレビ・冷蔵庫カードの割引(1枚1,000円)
通常16時間 ⇒ 会員20時間
- 入院時の個室・特別室を1割引
- 人間ドックの割引 各コースの料金から1割引(通年)
期間限定割引キャンペーンあり
- 全体の割引
通常15分1,000円 ⇒ 会員500円

